

(令和2年8月試験研究業務月報)

試験研究課題名：アズキ機械化栽培での難防除雑草の総合防除体系の確立

研 究

外来ホオズキ類防除技術の現地実証を行っています

京都府のアズキ栽培ほ場では、防除が困難な外来ホオズキ類による雑草害が広がっています。

そこで、当センターでは、外来ホオズキ類の防除体系に組み合わせる技術として、除草カルチによる機械除草や除草剤の条間散布^{※1}の効果を検討するために所内試験とあわせ南丹及び中丹地域で現地実証試験を行っています。

南丹地域では、8月19日に機械除草、26日に除草剤の条間散布を行い、中丹地域では25日に、除草剤の条間散布を実施しました。現地試験に協力頂いた生産者からは、「これらの方法で除草できるなら良い」などの意見をいただきました。今後は、所内と現地で得られた雑草軽減効果と収量のデータを基に、防除体系の構築をすすめます。

※1 除草剤の条間散布 :アズキが生えている列と列の間（条間）に除草剤を散布する方法



除草カルチによる機械除草



除草剤の条間散布